ｉｍｓ 通信

2026年　3月号

春なお浅く、朝夕はまだまだ冷え込む昨今ですが、お変わりありませんか。

春が近づくと毎年、ニュースや天気予報などで
「春一番」というワードを聞くようになります。
なんとなく、春らしい風が吹くのかな？とは思いつつも、
具体的にどういう意味なのかよくわからない…という人も多いのでは。
「春一番」とは何なのか、何のために発表するのか？今年はいつ吹きそう？？
そして、吹かない年もあるってホント…！？

≪「春一番」はややこしい！？≫

「春一番」は気象庁によって定義が決められていて、
立春から春分までの間に、日本海に低気圧がある状態で、
一定基準以上の強い南よりの風が吹いたときに発表されることになっています。
2026年は立春が2月4日、春分は3月20日です。
「一定基準」というのがモヤっとしますが、実はこれをちゃんと説明しようとすると、
ものすごく話が長くなってしまいます。
実は「春一番」は九州や関東といった地方ごとに発表するのですが、
たとえば九州では最大風速が7m/s以上、関東なら8m/s以上などと、基準が微妙に違うのです。
しかも、ただ南よりの風が吹くだけでなく、
加えて気温が上がることも必須条件になっている地域があるなど、かなりややこしいのです。

≪「春一番」は何のために発表？≫

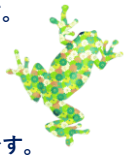
ややこしい風についてわざわざ発表するのは、これが天気の重要な境目になっているためです。
「春一番」に該当する強い風が吹く状況というのは、日本海で低気圧が急発達し、
春特有の災害をもたらす典型的なパターン。
暴風警報並みの南風を発生させることが多く、
実際に1859年には漁船が遭難し、53名の命が失われました。
最近でも建設現場の足場や重機が倒壊したり、火災の延焼を引き起こしたりして、
命にかかわる災害につながることがあります。
気象庁では、こういった災害への注意喚起の意味を込めて
「そろそろ春らしい災害に気をつけて」というメッセージとして「春一番」を発表しているのです。
ちなみに、「春一番」は立春～春分の期間限定で発表されます。
つまり春分をすぎたあとは、いくら強い風が吹こうとも「春一番」の発表はしません。
実際、「春一番」の発表がない年もあり、
たとえば関東だと10年に1度くらいの頻度で「発表なし」になっています。

交通機関への影響や火災リスクも高まるため、
事前に天気予報を確認し対応することが重要です！

傷害保険や生命保険も取り扱っておりますので、
少しでも気になる方は、担当へご相談ください！

【七十二候】
七十二候（しちじゅうにこう）は、二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。
自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！

《今月の七十二候》2026年3月5日(木)～2026年3月9日(月)　蟄虫啓戸(すごもり むし とを ひらく)
冬ごもりしていた虫たちが活動を始める時期を指します。春の訪れを五感で感じる象徴的な季節です。
この時期、土の中や落ち葉の下に隠れていた虫たちが活動を再開します。
小さな命の動きは自然のリズムを教えてくれるサインであり、
人々が季節の移ろいを感じる目安にもなってきました。
春の暖かさと共に、植物の芽吹きや昆虫の活動も始まります。
蟄虫啓戸は、自然の営みの再開を象徴する季節であり、日常生活に春の息吹を取り入れる良い機会です。



インスタ、ブログはじめました！
ｉｍｓ社員の日々の出来事やつぶやき
情報提供など様々な内容を
配信しております!!毎日更新中！
下記よりご覧いただけます！

災害時・緊急時含め弊社から
情報提供をさせて頂きます。
メールアドレスご登録の際は、
本文へお名前（ﾌﾙﾈｰﾑ）を
ご入力下さい！

ブログ　インスタ
弊社HP　メールアドレス

〒239-0835横須賀市佐原1-10-1
有限会社　ｉｍｓ（アイエムエス）
TEL:046-838-5522　FAX:046-838-5533